



介護を始めるとき知っておきたいポイント

介護が必要になったら まず何をしたら

ベッドに寝ていても「苦しい」「足が痛い」と呼ばれ、楽しいじゃない。一人で家に放っておけない。それが毎日だとしんどくなる。

もし、明日から家族を介護しなければならぬとしたら、あなたはまず何をしたら良いか知っていますか――。

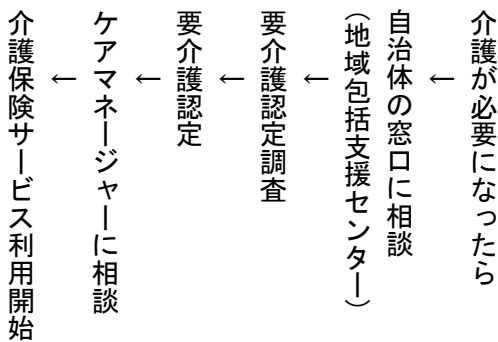
介護の必要な人は高齢化に伴って年々増えていて今、全国で600万人以上と言われている。主な原因は一番多いのが認知症、次に脳管疾患、高齢による衰弱、転倒・骨折、関節疾患などとなっている。私たちがいつ介護が必要となるか分からない。介護と一



口に言っても、家で見る在宅介護、そして施設介護がある。

介護が必要になった主な原因	
認知症	18・0%
脳管疾患	16・6%
高齢による衰弱	13・3%
転倒・骨折	12・1%
関節疾患	10・2%
その他	29・8%

日常生活の中で介護を必要となった時、例えば一人暮らしで掃除がしにくい、特にお風呂の掃除、食事の用意など日常生活に介護が必要になった時、先ず仕事を辞めたりしないで自治体の窓口相談に行き、介護保険を申請できるように申請をする。



介護保険証(見本)



平成18年から地域包括支援センターが中学校区に1カ所ずつできています。先ず、そこを訪ねる。病気になる医療保険を使用するが、介護にも介護保険があり、40歳以上の人は介護保険料を払っている。介護保険を使う段になった時は、申請をしないと使えない。ただし、家族が代わりに行って良い。